

ごせん 農業委員会だより

第61号

—発行—
五泉市農業委員会
新潟県五泉市太田1094-1
TEL (43)3911
—発行人—
会長 松尾 タカ子

農業まつり 五泉会場の様子
令和6年11月3日(日)開催
会場:ラポルテ五泉



謹んで新年のお祝いを申し上げます。日頃より、皆様方には農業委員会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の夏も異常な高温や台風、豪雨が農作物の生産に大きな影響をもたらしました。気候変動が引き起こす農業への影響を懸念するとともに、コメ作りの難しさを実感しているところです。また、生産資材や燃料価格をはじめ、あらゆるものがコスト高となり、農業分野への影響も計り知れない状況が続いております。

このような状況の中、本市農業委員会では、農地を将来にわたり農地として引き継ぐため、各地域で話し合いを行ってきました、将来の農地利用の在り方を示した「地域計画」の実現に向け、農地の集積及び集約を進めてまいりたいと考えております。

今後とも農業委員と農地利用最適化推進委員が互いに連携しながら、様々な課題解決に向けて、誠心誠意職務を遂行していく所存でありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、農業者の皆様にとって、本年も健康で素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

五泉市農業委員会

会長 松尾 タカ子

令和6年度 農業委員会 県内視察研修

農業経営後継者対策委員会



委員長
今井 聡

視察研修を終えて

11月26日に農業委員13名、推進委員7名で、直播栽培を行っている聖籠町と関川村にある農業法人2社へ視察研修に行ってきました。天候にも恵まれ、圃場や施設を見ながら話を伺い、参加した委員から次々に質問が出ました。高齢化や後継者不足など将来の農業への不安が年々増加する現状に2社の若手代表者らは、最新の技術の活用や思考を巡らせ、「地域と農業を守る！」という強い意志を感じ、良い刺激をうけてきました。

視察先の紹介

■視察先1

(株)アグリヘリテージ
(北蒲原郡聖籠町大字真野1991)

■視察先の特徴

令和6年度新潟県優良農業経営体等表彰事業において、働き方改革の部で新潟県知事賞を受賞されました。

経営の基本は「人を大事にする」とあり、実感として働き方改革を行いました。社員11名が健康的に安心して働くことができる職場を目指して※サマータイムの導入やシャワールーム等の整備を行い就業環境を整えました。

また、新しい栽培方法や作業管理システム等を積極的に導入し、生産性の向上と労働力の短縮を図ることを実現しました。

※サマータイムとは、炎天下の作業を避けるため、就業時間を午前5時〜正午まで、午後はオフにすること。

■視察先2

(有)上野新農業センター
(岩船郡関川村大字上野新5514)

■視察先の特徴

圃場整備が終了し、今後経営面積の拡大を見込み、省力化技術の活用を重視し、乾田直播栽培の取組、ドローンによる病害虫防除や除草剤、追肥の散布などスマート農業の実践に取り組んでいます。こうした最新技術の導入により生産効率が向上し、リスク管理も容易になり、これまで若手に敬遠されてきた農業ですが、将来性のある産業として関心が高まっているのではないのでしょうか。

他にも農業体験や研修生を積極的に受け入れ、後継者育成にも取り組んでいます。

上野新農業センターでは、女川地区の農業生産法人と連携し、岩船産コシヒカリ(関川村産)「光兎米」(こうさぎまい)の生産・販売を行っています。



(株)アグリヘリテージでスリップローラーシーダーによる乾田直播栽培の説明を聞く(写真:右)

(株)上野新農業センターで乾田直播栽培の圃場見学(写真:左)

新潟県農業会議創立70周年記念

新潟県農業委員会大会

11月21日、県下の農業委員会関係者が一堂に会し、令和6年度の新潟県農業委員会大会が開催され、五泉市からは25名の委員等が参加しました。

このたび、70周年の節目を迎える本大会は、将来の本県農業や食料の安定供給、さらには食を通じた地域活性化等をテーマに掲げ開催されました。70周年記念新潟県知事表彰や農業委員永年勤続表彰が行われたほか、「改正基本法のもとで地域農業再構築と農業委員会組織の役割」として一般社団法人全国農業会議所の稲垣専務理事から、食料・農業・農村基本法等の改正の意義や地域計画と農用地利用集積等促進計画について情勢報告がありました。

その後、フリーアナウンサーの伊勢みずほ氏を講師に迎えた記念講演が行われました。

「新潟の食と農に感謝！時代の変化への挑戦！」と題した記念講演では、いま、農業だけでなくこの業界もめまぐるしく変化している中、どう生きていくか、時代の変化への挑戦として「もつと手をつなごう」。「ひとりではできないことも誰かと手をつなぐことで実現できることがきつとある」と、三条市下田の米を有名にしたいという地元小学生の思いから実現した、農業と異業種が繋がり下田米ブランド化を図る「下田米フェス」を紹介していただきました。



農業委員会大会の様子

令和6年度

さといも品評会

五泉市農業まつり（五泉会場）実行委員会主催の「さといも品評会」がラポルテ五泉で開催されました。

今年は市内各地域から出品された51株のさといもを10月28日から11月2日までの間、施設来館者による投票が行われました。

結果は次のとおり、上位3株が表彰されました。（敬称略）

【最優秀賞】

高橋 恒男（本地）

【優秀賞】

川口 恵二（清瀬）

【奨励賞】

大湊 弘明（清瀬）

受賞された皆さんおめでとうございます。

フードバンクに
新米を寄贈しました

五泉市女性農業者の集い実行委員会では、今年度もフードバンクに新米を寄付する取り組みが行われました。

11月20日に、多くの女性農業者からの支援により集まった新米約60キロが、酒井実行委員長より五泉市社会福祉協議会の横山会長に寄贈されました。

寄贈された新米は、食糧支援を必要とされている方のために役立てられます。



令和6年度北信越ブロック 女性の農業委員等研修会に 参加して



農地利用
最適化推進委員
渡邊 のり子

10月28日に富山県で「北信越ブロック女性の農業委員等研修会」が開催され、五泉市農業委員会から女性農業委員、推進委員5名が参加しました。

研修会ではたくさんの方との交流から、様々な女性農業者の活躍を知るとともに、今年度策定される「地域計画」を実現していくためにも、地域の方との話し合いの場を持つことの大切さを実感したところです。

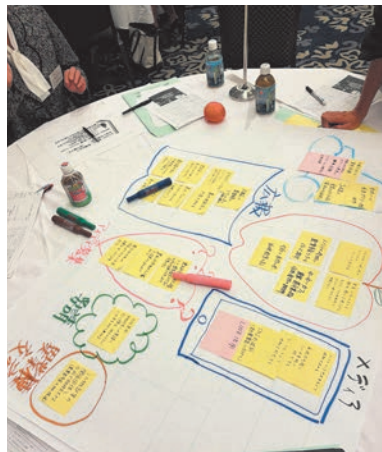
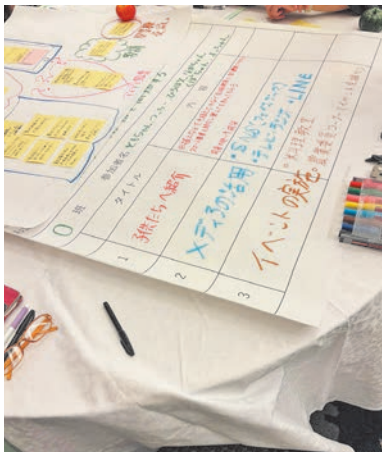
第1部では、「農業委員会組織を巡る情勢について」と題し、「食料・農業・農村基本法の見直しの概要」や「地域計画の意義、策定状況」、「女性農業委員の登用」などについて話を伺いました。

第2部では、「思いをカタチにできる座談会の開き方」をテーマにワークショップを行いました。グループごとに意見を出し合い、グループとしての結論を出して発表しました。時折、話が盛り上がる場面もあり、参加者同士の親睦が深まり、会話の中から新しい気づきや勉強になることがたくさんあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

研修で講師の方や他の参加者からもらったアドバイスを意識し、地域の活性化にむけ、推進委員として、女性としての立場から、非力ではありますが農業者と五泉市との橋渡し役となれるよう努めて参りたいと思います。



会場の様子



第2部 ワークショップの様子
活発な意見交換をすることができました。



購読して
みませんか

■発行日 毎週金曜日(月4回)
■購読料 月700円(送料、税込)
■お試し期間として3ヶ月間の
無料購読が可能です。

お申し込みは、農業委員や推進委員、または農業委員会事務局までお問い合わせください。

郷土料理の
レシピなど
楽しい記事
もあります



編集後記

農業は丁寧で根気のいる作業です。自分の手で農作物を育て収穫できる喜びなどの楽しさを若い人達にも味わってほしい。人づくりも、土づくりも時間がかかりますが、今後を担う人材育成は欠かせません。五泉市農業の活性化に貢献すべく、おいしい農産物を消費者に届けられるよう、今年も頑張ります。

編集委員 高橋 喜美子